

本とあそぼう Vol. 139

こどみんと

悲しいときや苦しいとき、
ぼくはいつも
こぶしをかたくにぎりしめる
すると、苦しみや悲しみは、
みんなぼくからにげてゆく。
勉強でなきくなつたとき、
ぼくはぐつと
こぶしをかたくにぎりしめる
すると、本の字がはつきり見えてくる。
また、北風がビュービューふいて
ぼくをいじめるとき
ぐつと、こぶしをにぎりしめる
すると、風のやつ、
急に道ばたの木へにげ帰り
えだを、ガサガサくやしそうに
ゆすっているんだ。

2012年 11月
宇佐市民図書館
〒879-0453
宇佐市大字上田 1017-1
Tel. 0978-33-4600
Fax. 0978-33-4679

にぎりこぶし

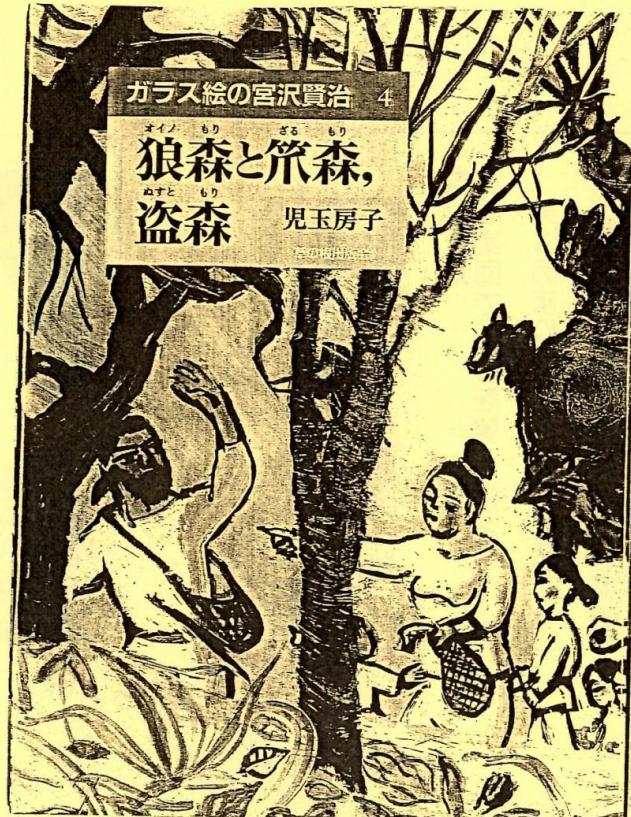
村野四郎

『子どもといっしょに読みたい詩100』第2集より

村野 四郎 詩 たんぽぽ出版 刊

どくだんとへんけんによっているかもしれない

今月の一冊



『狼森と笊森, 盗森』
宮沢賢治 作 児玉房子 絵
草の根出版会 刊

岩手山の麓、4つの森がある場所に、4人の
男と家族がやってきました。
「畑おこしてもいいか」「火たいてもいいか」
と聞き、森は「いいぞ」と答えました。
ある日、小さな子ども達がいなくなつたので
さが探しのところ、狼森の中で狼と遊んでいました。
そこで、粟餅を作つて持つて行きました。
人間と自然との共生を描いた作品です。

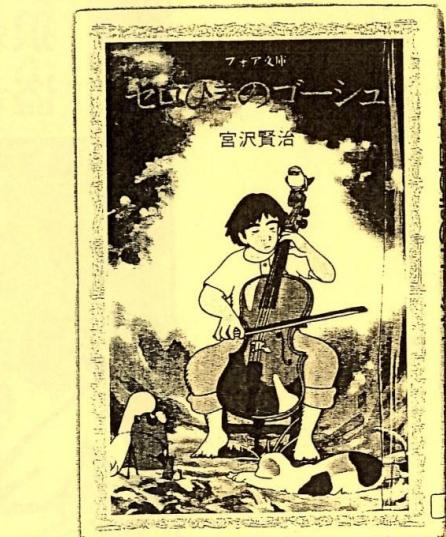
【宮沢賢治の本】

『銀河鉄道の夜』

宮沢賢治 作 司修 絵 岩崎書店 刊



貧しいジョバンニと裕福なカムパネルラ。一人の友達は銀河鉄道に乗つて旅にでます。宮沢賢治の代表作と言われる作品です。



『セロひきの「ゴーシュ』
宮沢賢治 作 岩崎書店 刊

金星樂団でセロを弾く係のゴーシュ。実はあまり上手ではありませんでした。ある晩、セロを練習していると、三毛猫がやってきました。次の日は力尽きました。その次の日はたぬき。それからねずみでした。

『よく利く薬とえらい薬』
宮沢賢治 作 児玉房子 絵 草の根出版会 刊

清夫がお母さんのために森で見つけたのは、病気が治る、透き通つたばらの実。その話を聞きつけた金持ちの大三は、森へばらの実をさがしにやつてきました。といふが、ばらの実は見つかりません。



宇佐市民図書館では
「読んで旅する東北フェア」
として、東北の本をたくさんおいています。